

パートナーズ(株) 布子克敏の お悩み解決 リフォーム講座



第9回 押入れとドアのリフォーム

建てた直後はゆとりがあつた収納スペースも、時間が経ち、子どもが成長するにつれ次第に狭くなるもの。今回は日本の住まいの代表的な収納スペースである押入れからクローゼットへのリフォームと、ドアの交換について考える。

和室に必ずと言っていいほど備え付けられている



幅一間半の押入れがクローゼットに

のも容易です。(用途に合わせて引き戸、開き戸も選べます)。上からぶら下げるタイプの折れ戸は足元のレールが不要となり、キャスター付の収納ボックスを入れるさいに便利です。

る押し入れは、便利な収納空間です。ただ、ふすま(引き戸)を完全に開くことができないため(一時的に外してしまうのならば別ですが)大きなものが収納しにくい、中板が固定されており高さを調整できないなどの欠点があります。最近では畳張りの和室をフローリングの洋室にリフォームしてほしいとのご要望が多いのですが、このような工事に合わせて押し入れを洋式のクローゼットにリフォームしています。

色はさまざまで、白、ベージュ、薄い茶色、茶色、そしてこげ茶に至るグラデーションの中から好みにあつたものを選びます。模様もシンプルな無地のほか、ナチュラルな雰囲気の木目タイプが用意されています。

押し入れの中板は壁に固定されていますが、クローゼットなら壁にはめ込んだ棚柱に引っ掛ける金具の位置を調整して、棚板の上下の位置を用途

に合せて変えられます。今回、もうひとつご説明したいのが、室内のドアの交換です。従来の住宅では高さ1間(約180センチ)のドアが一般的だったのですが、最近では高さ2間から2間30センチ程の見栄えするドアが人気です。色や模様はさまざま。一般的に、最近のドアは古いものより軽いので、開け閉めが楽です。

扉には折れ戸がおすすめてです。これなら開口全体を開くことができ、大きなものを出し入れする



開け閉めしにくくなったドアも、枠からリフォームすればスムーズに

古くなった木造住宅ではドア枠が歪んで開閉しにくくなる場合があります。そのような場合には枠から作り直すことで開閉がスムーズになります。収納やドアのリフォームの費用は、サイズや仕様により大きく変わってきます。一度お気軽にご相談ください。

プロフィール

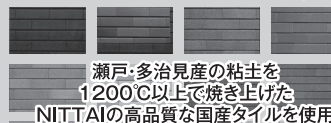
ぬのこかつとし アルミ建材メーカーでの14年間の勤務を歴て独立、2011年にパートナーズ(株)を設立して社長就任。37歳。

我が家をあこがれの「タイルの住まい」にリフォームするチャンス

壁面積132㎡
(40坪)で

183.4万円

材料費・工事費・足場代
消費税、すべてコミコミ



瀬戸・多治見産の粘土を
1200℃以上で焼き上げた
NITTAIの高品質な国産タイルを使用

リフォームのことなら
なんでも気軽に相談

- キッチン&バス
- バリアフリー化
- 耐震改修
- 断熱ドア・断熱窓
断熱改修etc.

外壁タイル工事の熟練職人が施工します
乾式引っ掛け工法で驚きのプライスを実現



皆様の良きパートナーでありますように……
パートナーズ株式会社

見積無料 通話料無料

☎0120-696-818

ホームページは「パートナーズ旭川」で
〒070-0035 旭川市5条通9丁目1703-30 ロイヤルビル6F